

臨床心理学特講 8

「眠りを疎かにしている日本社会」

眠りに関する基礎知識を得たうえで、「ヒトは寝て食べて始めて活動できる動物である」との当然の事実を確認し、現代日本が抱えている問題のかなりの部分に、我々が動物であることの謙虚さを失い、眠りを疎かにしたことの報いが及んでいることを認識していただければと思います。そして願わくばこの講義が皆さんの今後の生き方を考える際の一助になれば幸いです。

1	4月14日	オリエンテーション
2	4月21日	眠りの現状
3	4月28日	眠りを眺める
4	5月12日	眠るのは脳
5	5月26日	Pros/Cons
6	6月 2日	寝不足では・・・
7	6月16日	Pros/Cons?
8	6月23日	眠りさえすればいつ寝てもいい？
9	6月30日	眠りと物質
10	7月 7日	様々な眠り
11	7月14日	睡眠関連病態
12	7月21日	眠りの社会学 -SHT
13	7月28日	まとめと試験

Pros/Cons

- テーマ
- 子ども手当

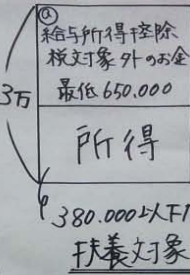
反対意見

- ① 扶養控除や配偶者控除が廃止され所得税が高くなる。
- ② 地方自治体と国の信頼関係が崩れる(地方への負担)。
- ③ 手当の永続性が見込めないにもかかわらず、手当に期待する人がいる。
- ④ 現金支給により直接的に子どものために使われるとは限らない。
- ⑤ 現状、待機児童が多いため出生率が上がっても受け入れ先がない。

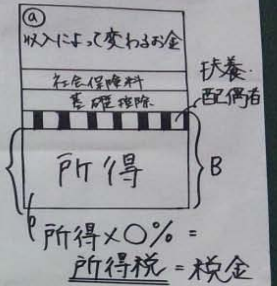
参考資料

① 扶養控除対象者
 納税者と生計を共にしている
 世帯間の合計所得金額が
38万円以下
 配偶者である(配偶者控除)
 配偶者以外の親族である(扶養控除)

<図1>



<図2>



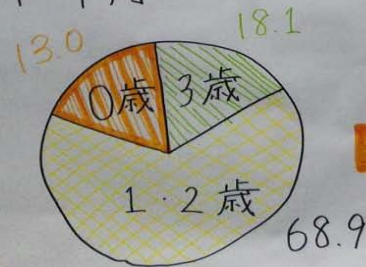
「子ども手当」の財源は、

児童手当 ⇒ 国・地方・事業主の三者

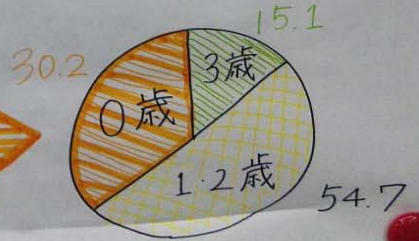
「子ども手当」の地方負担に関する要請

マニフェストで国民と契約した「子ども手当の全国負担」を破棄し、
 地方固有の自主財源である住民税などを国の施策のために、
地方の意見も聞かずに勝手に 押し付けるとすることは、
 憲法92条の「地方自治の本旨」を侵すものであり、
 国と地方の信頼関係を著しく損なうものである。

11年 4月



21年 10月



子ども手当 必要性



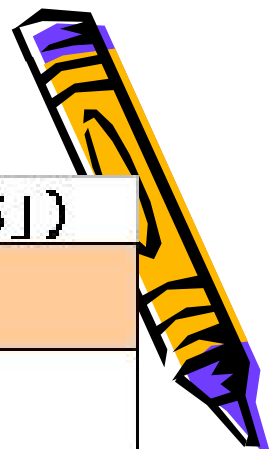
—子ども手当の狙い—



- 日本政府が家庭の子育てを支援するためにかけている予算は、GDPで比較すると先進国の中では少ない
- 「子どもを安心して生み育てることができる社会の構築」を目指している

(by民主党)





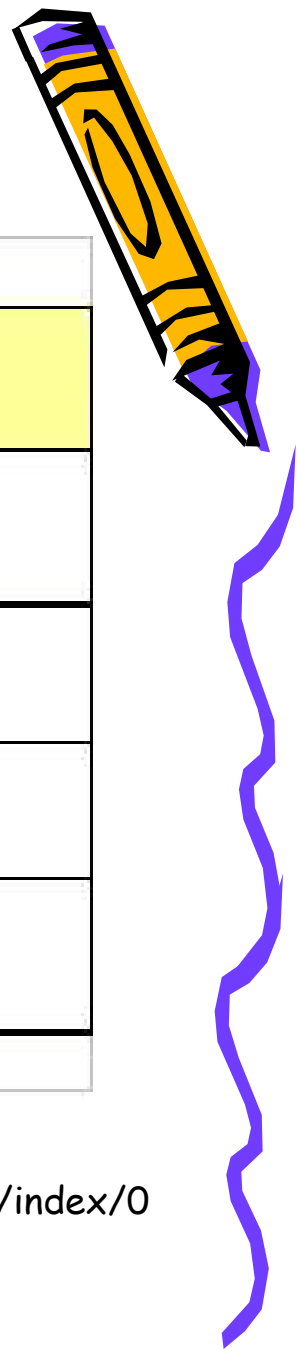
●教育費(文部科学省「データから見る日本の教育2005」)

	国公立	私立
幼稚園2年間	46万円	105万円
小学校6年間	175万円	758万円*
中学校3年間	131万円	370万円
高校3年間	159万円	309万円
大学4年間	282万円(国立)	579万円
合計	793万円	2121万円

上記には、学校教育費の他、通学費お稽古事や塾代、受験費用なども含まれる。

*私立小学校のみ平成15年度東京都調べ






●大学の教育費(文部科学省データ)	
	大学
国立	約237万円
私立文系	約376万円
私立理系	約497万円
私立医歯系(6年)	約2478万円
私立大学は平成15年度、国立大学は平成16年度	



http://allabout.co.jp/contents/life_closeup_c/ikujimoney/CU20060501A/index/000.jpg



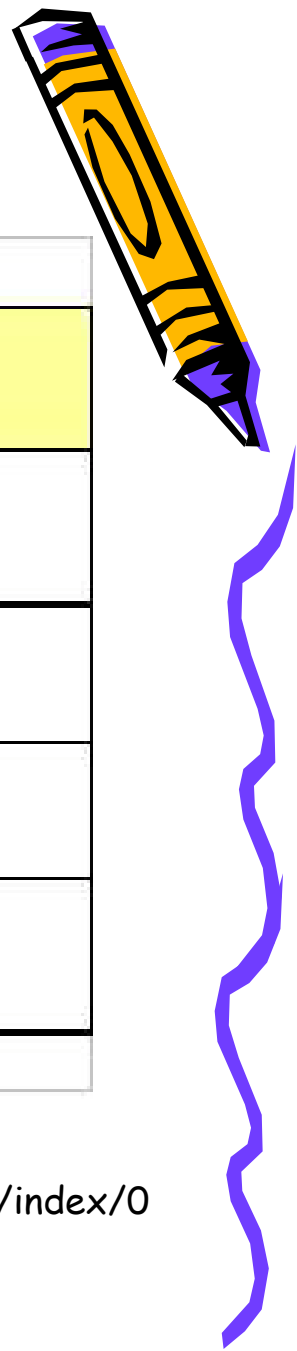
平成20年
全平均
430万円

男性 533万円
女性 271万円

統計元：国税庁 平成20年 民間給与実態統計調査結果

・ ・ ・ ムリ？？

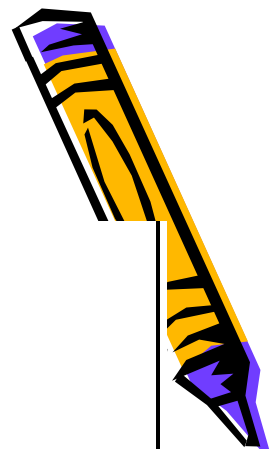




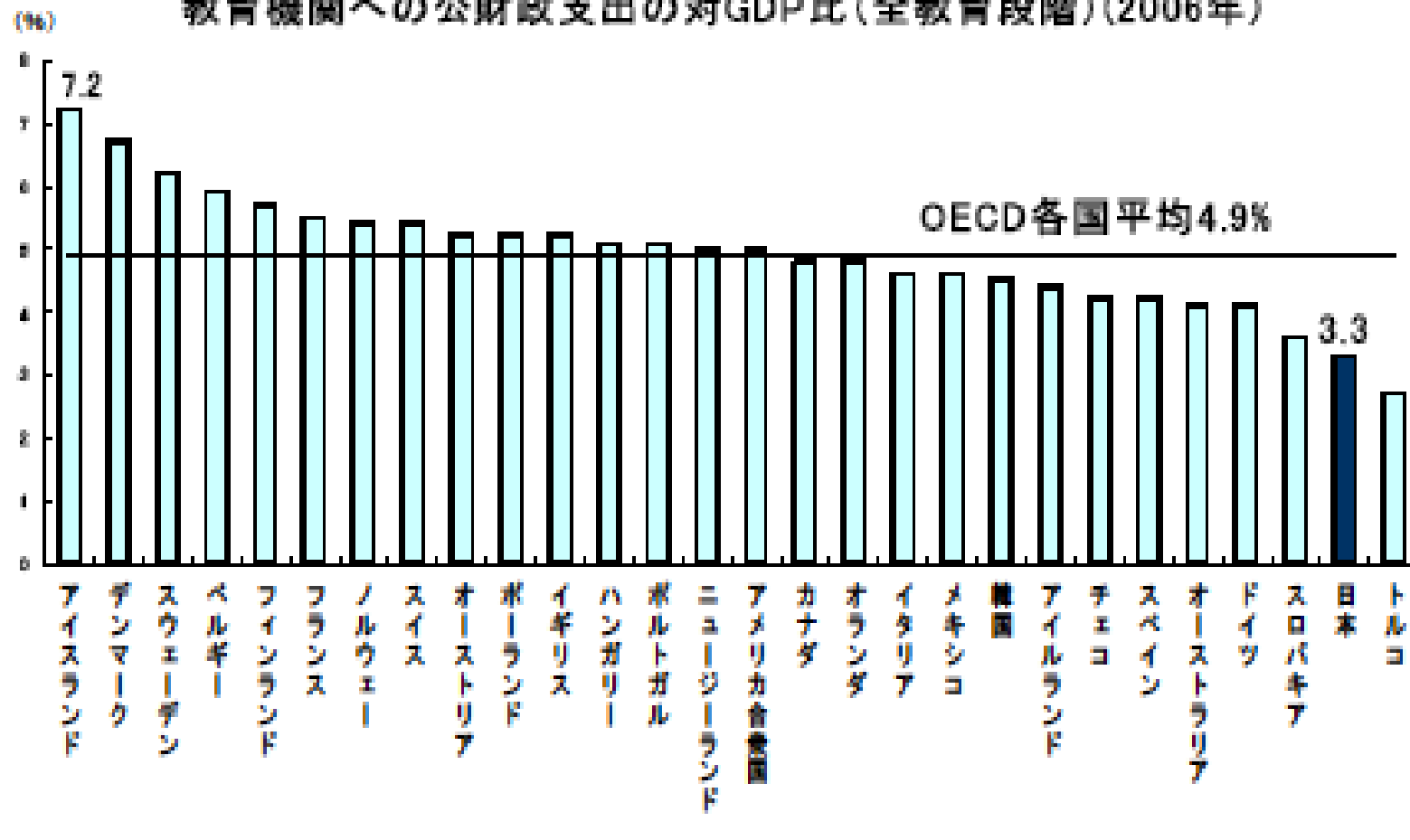
●大学の教育費(文部科学省データ)	
	大学
国立	約237万円
私立文系	約376万円
私立理系	約497万円
私立医歯系(6年)	約2478万円
私立大学は平成15年度、国立大学は平成16年度	



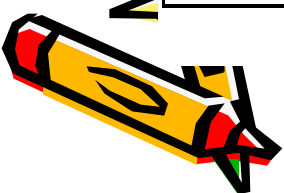
http://allabout.co.jp/contents/life_closeup_c/ikujimoney/CU20060501A/index/000.jpg



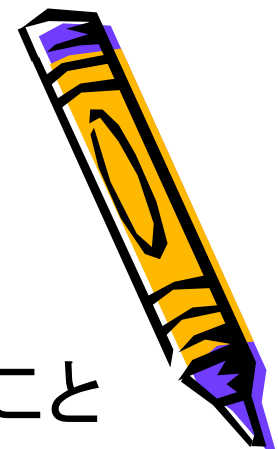
教育機関への公財政支出の対GDP比(全教育段階)(2006年)



※トルコ(2.7%)は、昨年はデータの提出がなかった。



—まとめ—



- 世帯収入によって教育格差が生まれていることは、政府調査によっても明らかである
- 「子ども手当」によって昨今の教育問題に取り組んだことは大いに評価できる
- 「教育を受ける権利、教育を受けさせる義務」が記されているように、教育の格差は本来生まれてはならないもの
- より平等な教育が期待できる



子ども手当て 賛成派

- 高齢者向け福祉対策にばかりお金をかけているが、子どもへの**投資への転換**が必要。
- 日本人は生まれた時から借金を背負っている。
→個人に課せられた借金を帳消しにしていく意味でも子ども手当では必要。

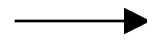
- 富の偏在を調節する役割となりうる。
(子供自身に富か否かは関係がないと考える)

- 単純に家族で使うことが大切！

今より充実した生活を！

例) 食事を豊かにする

遊びに出かける



子どもに不景気、借金という負担を背負わせない！！

まとめ

子どものない人も、日本が少子高齢化になれば困るはず



- 次世代を残さない人々には、相応の経済負担を負うべきではないのか？
- 将来の担い手である子どもを育てるにはすべての人の投資が必要なのだ！！

不景気に、新たな対策をしないと日本は変わらない！

行動をまず起こすこと！

それが子どもの為なら、有りではないか？

実行してみる価値は？



子ども手当て



反対 against

反対意見

- 定額給付金と同様のばらまきではないか
- 使い道が個人に委ねられてしまふ現金支給では効果がみられないのではないか



提案

- 義務教育の無償化（私立の子どもには補助）
- 保育園・ベビーシッターの充実
- 学用品のリサイクルシステム
- （幼稚園、保育園などの就学前学習の補助）



財源

- 子ども手当での支給分を義務教育の学費に当てる
- 出産後の職場復帰支援の制度を充実させることにより、国内総生産があがり、
税金もあがる・・・かも。



救児の人々～医療にどこまで求めますか(熊田梨恵)

<http://lohasmedical.jp/books/pdf/lm-kyuji.pdf>

臨床心理学特講 8

「眠りを疎かにしている日本社会」

眠りに関する基礎知識を得たうえで、「ヒトは寝て食べて始めて活動できる動物である」との当然の事実を確認し、現代日本が抱えている問題のかなりの部分に、我々が動物であることの謙虚さを失い、眠りを疎かにしたことの報いが及んでいることを認識していただければと思います。そして願わくばこの講義が皆さんの今後の生き方を考える際の一助になれば幸いです。

1	4月14日	オリエンテーション
2	4月21日	眠りの現状
3	4月28日	眠りを眺める
4	5月12日	眠るのは脳
5	5月26日	Pros/Cons
6	6月 2日	寝不足では・・・
7	6月16日	Pros/Cons?
8	6月23日	眠りさえすればいつ寝てもいい？
9	6月30日	眠りと物質
10	7月 7日	様々な眠り
11	7月14日	睡眠関連病態
12	7月21日	眠りの社会学 -SHT
13	7月28日	まとめと試験

6月16日のテーマ

子ども手当を考えてみて